

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	ヒトツナ武里教室 児童発達支援		公表日 2025年 3月 28日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		児発は小集団～個別療育の為、広い教室で十分な距離感を確保出来ています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		固定の職員が配置されているので、大きな変化はなく、安全を優先した対応をしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		水道は児発向けではないが、足場を用意する等の工夫をしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日消毒・清掃を行い清潔を心がけています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		クールダウンが必要な場合等、相談室が使用できるようになっています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	適宜に実施していますが、不十分な場合がありますようにも思います。	更に全職員がより参画し易い体制・環境を整えます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		会議の場で、職員が話し合っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		HUGの保護者コメントから把握、実践につなげることもある。進展には時間を要する。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		外部による第三者評価は、今後必要に応じて検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7		月2回の研修、年に数回ある全体研修等を実施しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		児発管を中心に適宜に行っています。	職員からのアセスメントを重視し、ケース会議を経て支援計画を策定し、計画作成に努めます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		氷山モデル、ABA等を話し合っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			アセスメントの質を向上させ、より支援の質を向上できるように努めます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		児発管を中心に適宜に行っています。	全職員からのアセスメントをもとに、お子様の支援に必要な項目を選択し、具体的な内容を設定できるよう努めます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		年間or月間で決めたものの他、都度、追加する遊びを立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		年間or月間で決めたものの他、都度、追加する遊びを立案しています。同じようなプログラムでも、内容に変化をつける等の工夫をしています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		個々のレベルに応じて、使用する教材を変えたり組み合わせています。児童発達支援を中心に適宜に行っています。支援は→集団はリード・個別はプロンプターが担っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	事前確認や共有に努めています。不在の職員には個別に別途共有しています。	送迎等不在の職員もいる為、時間差で全職員に共有出来るように努めます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	その日に共有出来ない場合は、翌日に実施しています。	送迎等不在の職員もいる為、時間差で全職員に共有出来るように努めます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		HUG+ケア記録も細かく記録するようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	半年に1回会議があり、他にも日々気になる様子を共有し支援方針を確認しています。	支援計画の更新毎に見直しを行い、必要に応じて計画修正を行います。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	2	詳しく認識出来ていないです。各々、把握している事の共有をしている。	児童発達支援だけでなく、主にそのお子様の支援に入る職員が同席する等の配慮をします。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	支援に関しては、外部との繋がりはあまりないと感じます。保育園・幼稚園の先生方にはいつもご協力いただいています。	地域の保健機関、医療機関、行政等との連携を今後は強化していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	適宜にアセスメント資料やお手紙を出します。	保育園・幼稚園の先生方にはいつもご協力頂いています。関係機関連携を積極的にを行い情報共有と総理解に努めます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	適宜にアセスメント資料やお手紙を出します。	就学先の小学校と支援内容・情報共有を行う為の関係機関連携に努めます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3		適宜に実施します。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	公園レクや散策レクで一緒になることがあります。ヒトツナパークに参加することもあります。	ヒトツナパークの参加による交流を図ります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		通話等を利用したり、送迎時には対面にて伝聞共有等を行っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	適宜に話し合いや相談会を促しています。	家族支援の観点から、保護者様に参加して頂く研修会の開催を準備しています。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		児童発達支援を中心に適宜に行っています。	契約時に丁寧な説明に努めます。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		児童発達支援を中心に適宜に行っています。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		児童発達支援を中心に適宜に行っています。		

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	2	定期開催の継続は出来ていないように思います。ご家族様からご相談があった場合、よりそう気持ちで応じています。	ご家族様のお悩みに応じて面談機会を設けます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	毎年1回以上のグループ相談会の実施を計画しています。本年度においては昨春の人事異動に因る新体制の整備の為、未開催となりました。新年度は開催の予定です。	毎年1回以上のグループ相談会の実施を計画しています。保護者会等の開催を検討し、保護者様の交流を図ります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		共有が不十分で対応が遅れたり、手違いが起こることもあります。迅速な対応を心掛けています。	職員間の共有に努めます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		インスタ・HUG通信・HP・リタリコを通じて発信しています。お手紙や通信での配布も行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		外部漏洩には特に最大限の注意を払っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		児発管を中心に適宜に行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	教室周辺のゴミ拾い活動や、ヒトツナパーク等を行っています。	
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	月例の訓練や年間スケジュールで組まれて実施しています。法令に基づいた訓練を定期的な開催の他に、教室独自の防災訓練を毎月行っています。保護者様にもhug・ヒトツナ通信等で周知しています。
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	月例の訓練や年間スケジュールで組まれて実施しています。	BCPを策定し、それに基づいた訓練を実施しています。引き続き継続します。
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	既往歴等、職員間で確認しています。個別ファイルの確認は不十分かもしれません。	契約時・支援計画面談時に保護者様からの情報収集を強化していくと共に、職員間での共有に努めます。
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		調理レク開催毎に保護者様に確認しています。「安全第一念！念には念！」を心掛けています。	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		児発管を中心に適宜に行っています。	
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		児発管を中心に適宜に行っています。	
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		1日1ヒヤリ&ハットの記録を励行しています。些細な事も共有を心掛けています。	
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		研修を行うと共に、お互いの姿勢を意識しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1	職員間の話し合いは出来ているが、保護者への説明は不十分かもしれない。納得合意出来るまで話し合いを継続しています。	必要に応じて保護者様に説明し、計画への記載を行います。	